

瀬戸内少女歌劇団 ワークショップ開催と団員募集のお知らせ

瀬戸内国際芸術祭実行委員会（会長：池田豊人 香川県知事）では、「ART SETOUCHI」として、一年を通して地域活動への参加やアート作品の公開等に継続して取り組んでいます。

瀬戸内国際芸術祭 2019 に結成された、北川フラム総合ディレクター原案の演劇プロジェクト「瀬戸内少女歌劇団」。瀬戸内国際芸術祭 2019 では、栗島で栗島海員学校を舞台にした「せとうち物語―栗島編―」を上演し、手旗信号の演出は観客に強い印象を残しました。続く、瀬戸内国際芸術祭 2022 では、本島で参加者が塩飽大工になったという設定で「せとうち物語―塩飽編―」を上演。地域に残るお話を体験型の演劇で表現することで瀬戸内国際芸術祭を盛り上げてきました。

瀬戸内少女歌劇団は、地域に残るお話を、演劇を通じて繋げていく活動を芸術祭の会期外も継続しています。今回は、瀬戸内国際芸術祭 2025 の新規メンバー募集に先立ち、実際にどのような稽古が行われているかを体験いただくためのワークショップを開催します。ご興味のある方は奮ってご参加ください。各日程や応募方法は別紙のとおりです。



瀬戸内少女歌劇団「せとうち物語―栗島編―」 Photo: Shintaro Miyawaki



瀬戸内少女歌劇団「せとうち物語―栗島編―」

Photo: Shintaro Miyawaki